



Creative Application A03

思考とメディア あるいは 主客と世界

2024年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます。答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

資料の見方

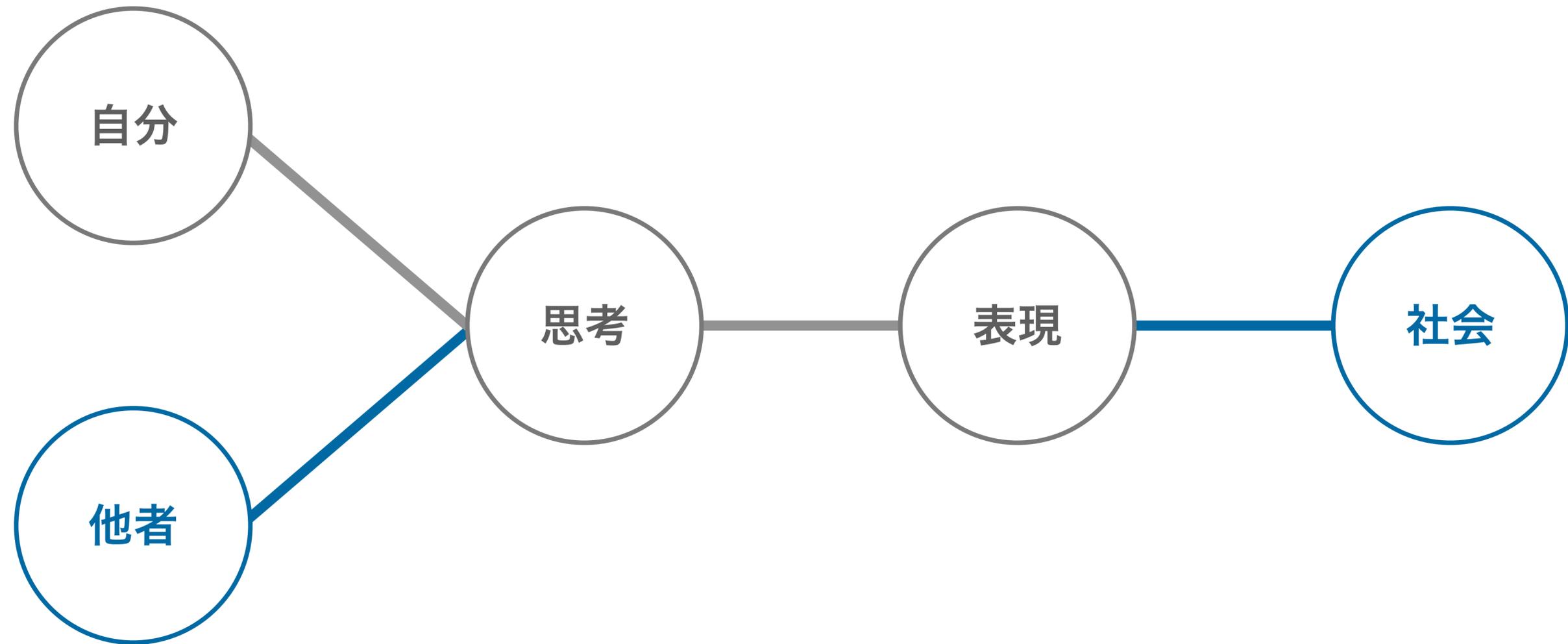
テーマに沿った項目
(座学で説明します)

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

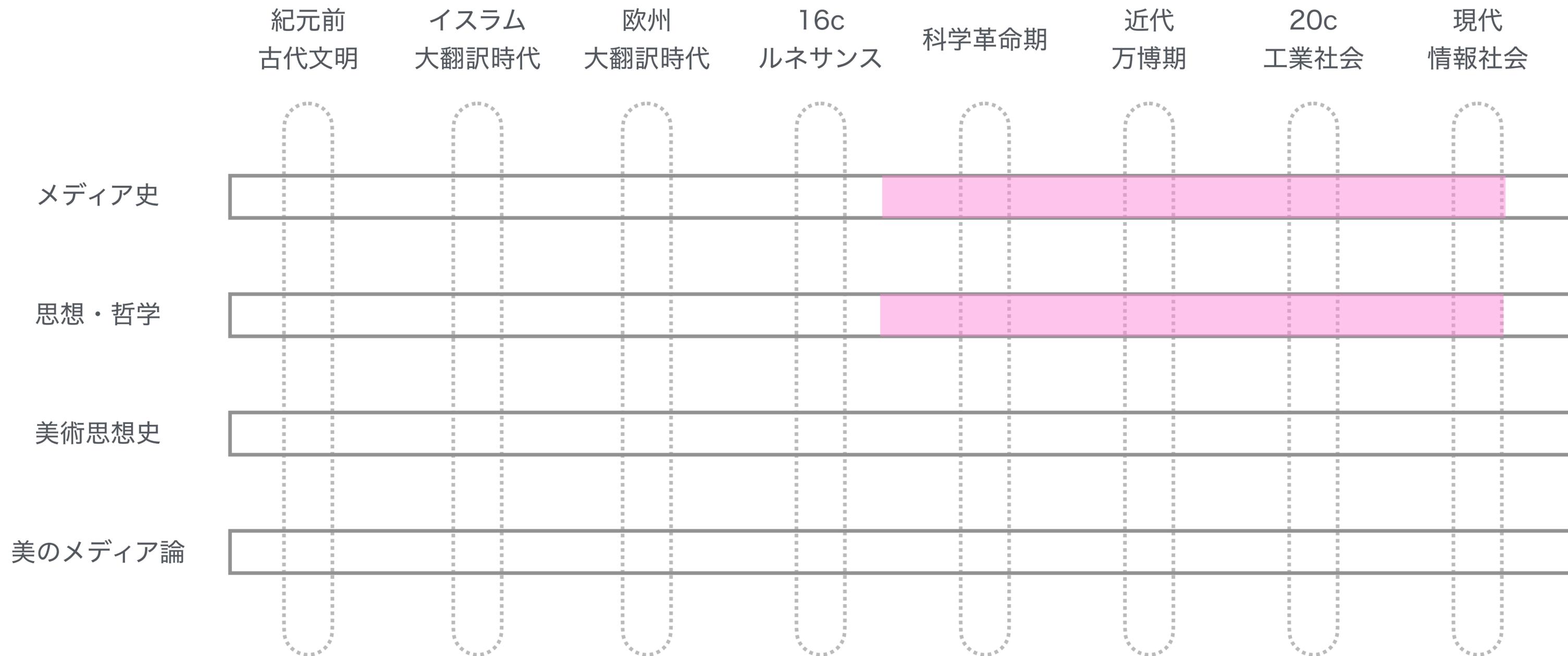
テーマ

- ▶ **メディアは各個の思考を交流し、社会へつなぐ**

関連要素図



今回の領域



メディアとは1 - 諸説

- ▶ 一般的なメディア
 - ▶ 媒体そのもの. マスメディア, 記録媒体など
- ▶ **メディアはメッセージである (マクルーハン)**
- ▶ **メディアは寄せ鍋である (近藤)**
 - ▶ 媒体だけでなく, 媒介する内容や関係性に注目
- ▶ **メディアエーション宣言 (ドゥブレ)**
 - ▶ 媒介技術がむしろ人間を左右する

関連キーワード

- マーシャル・マクルーハン「メディア論」
- グローバル・ヴィレッジ
- メディアは身体 of 拡張
- 近藤邦雄
- レイ・ブラッドベリ「華氏451度」
- ドゥルーズ, ガタリ, ドゥブレ
- 言語論的転回, メディオロジー的転回
- マルティン・ルター
- ゲーテンベルクの活版印刷技術
- 印刷と出版
- インターネット技術

メディアとは2 - CreAppのメディア

- ▶ **メディアはメッセージを伝える (渡邊)**
 - ▶ 受発信で**思考を外部につなげる状態になること**
- ▶ **メディア化 ⇔ 非メディア化**
 - ▶ 常にメディアなものはない, 状況で変化する
- ▶ **メディア化の推進**
 - ▶ **思考のつながりの生成 (メディア学部の本質)**

関連キーワード

- メディア学
- 相磯秀夫
- 東京工科大学メディア学部
- メディア論
- デジタル・マクルーハン
- メディア・リテラシー
- 口承メディア, 文字メディア, 画像メディア
- マルチモーダルコミュニケーション

メディアとは3 - 思考をつなぐ試行錯誤

- ▶ **メディア**は個人と個人の思考をつなぐ
 - ▶ 情報・知識の共有, 交流, 議論の発生
 - ▶ 思考の混交, 更新, 融合
 - ▶ 思考が刺激され新たな試行錯誤が発生
 - ▶ 試行錯誤の出力を**メディア化する** → **メディア表現**
- ▶ 課題
 - ▶ ただし**メディア化**は容易ではない
 - ▶ つなぐべきではない場合のみきわめが難しい

関連キーワード

- 文理芸融合
- メディア表現
- コミュニケーション学
- 情報・知識・思考・知恵
- 「三人寄れば文殊の知恵」
- イスラムの解釈学
- ブラフマー・グプタ
- ユークリッド幾何学
- フォーリスミー代数学
- 谷山・志村予想

思考をつなぐ1 - 主観と客観

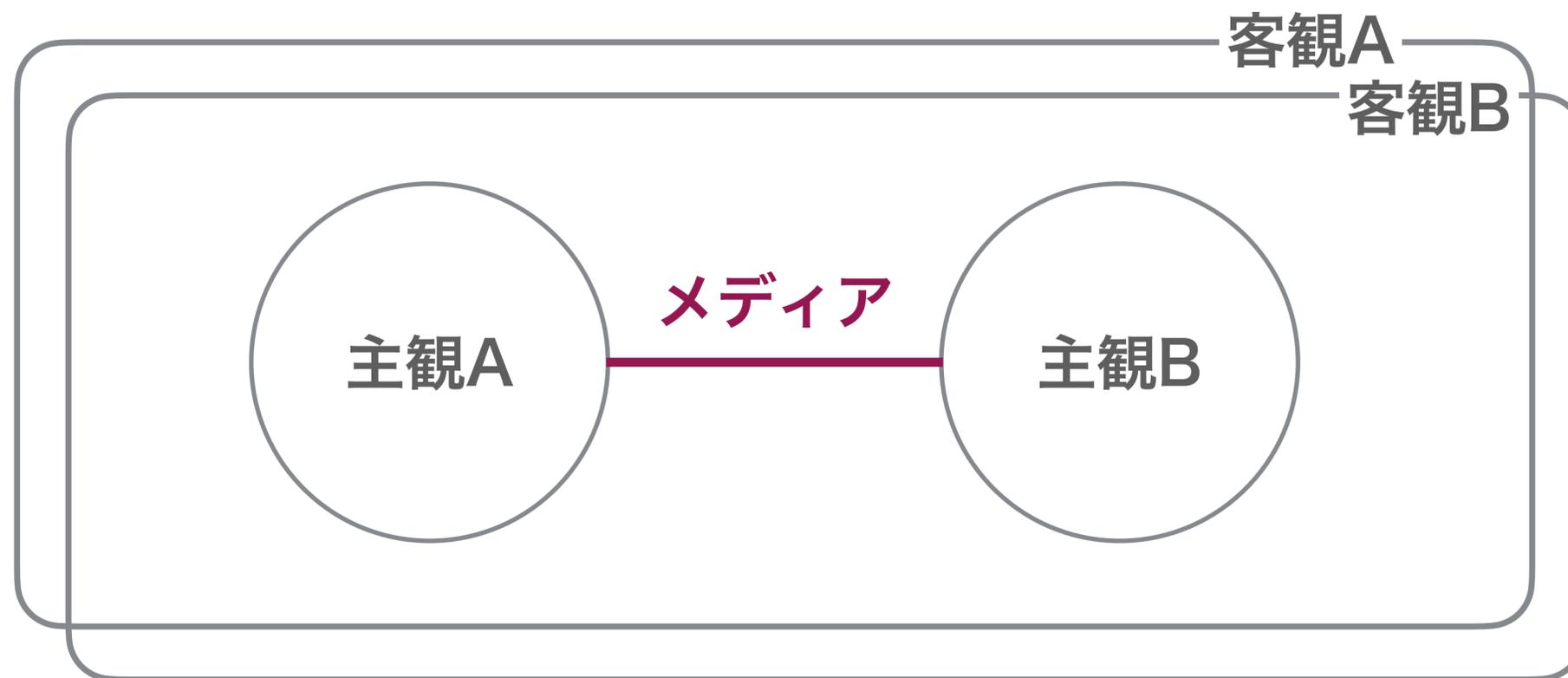
個の強化と主客の分離

主観 - 個人のものもの見方・個人の思考領域

客観 - 主観以外の領域

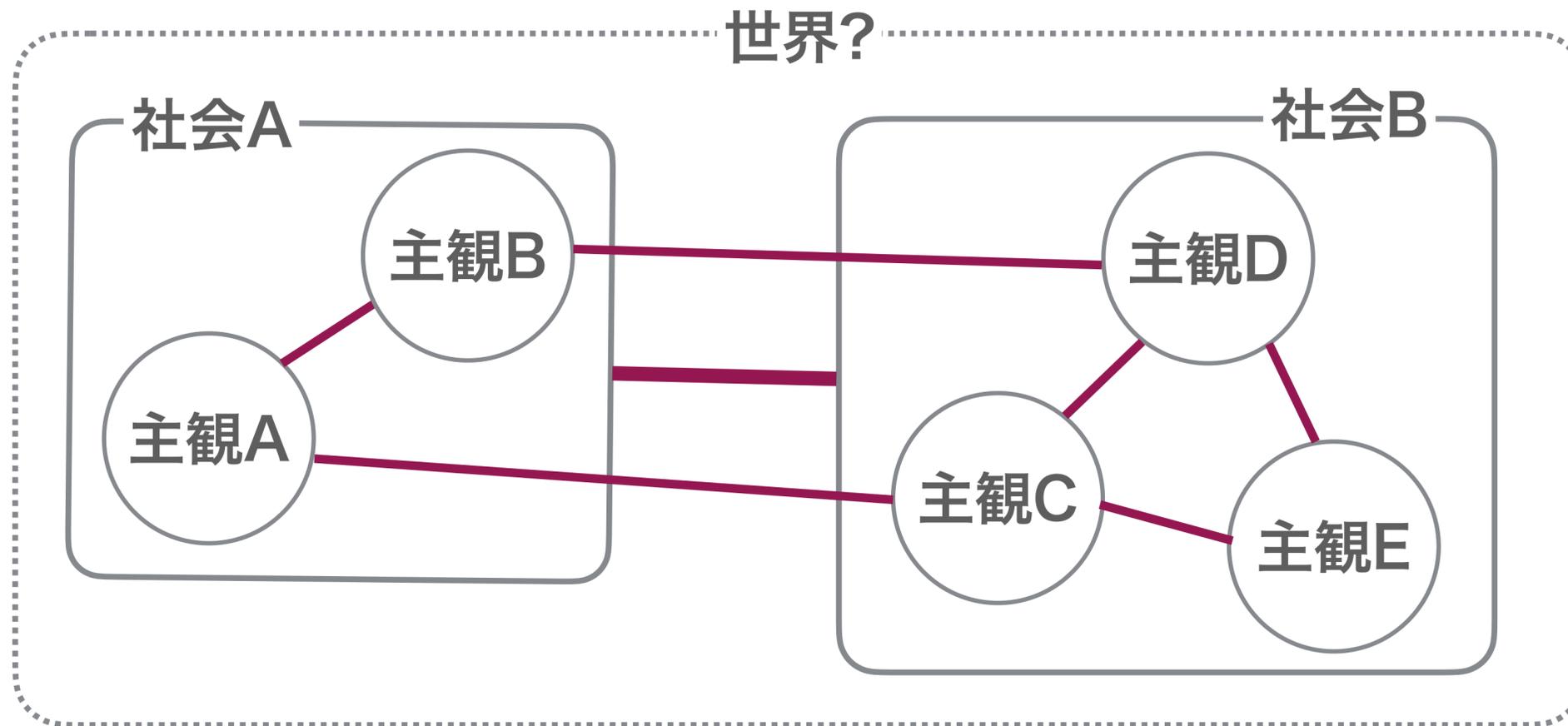
関連キーワード

- デカルト, 「我思うゆえに我あり」
- 神の存在証明
- カント, ヘーゲル, 認識論的転回
- ニーチェ
- 本質と認識
- フッサール, 現象学, 還元
- マルクス・ガブリエル, 意味の場
- 色即是空, 空即是色
- 梵我一如
- 主客不可分



思考をつなぐ2 - 個・社会・世界

- ▶ 近現代の思考：個・社会・世界が分離
 - ▶ 個の試行錯誤をメディア化して社会につなぐ



関連キーワード

- 産業革命
- レヴィ=ストロース, 言語論的転回
- 共同体, コミュニティ
- ゲマインシャフト, ゲゼルシャフト
- クァンタン・メイヤスー, 思弁的实在論
- マルクス・ガブリエル, 新实在論
- レン・マスターマン, メディアリテラシー
- 東浩紀

メディアは各個の思考を交流し、社会へつなぐ

- ▶ 個々と社会の関係を再考察
 - ▶ 分断された個・社会・世界の再結合
 - ▶ 個は外界から刺激を受け、試行錯誤が発生
 - ▶ 個の試行錯誤を社会につなげるには？
 - ▶ **試行錯誤の出力(表現)のメディア化**
- ▶ **自分で考え、他人の考えを聴き、つなぐ力が肝要**
 - ▶ コミュカとは異なる**メディア化**の力を養う

CreApp-Bのリンク2

- ▶ **ものづくりの視点を増やす → 他者に伝えてみる**
 - ▶ 主観のコンテンツを客観に出力し、見え方が変わるか確かめる
- ▶ 自分の中にあるイメージを、テキストなどに出力する
- ▶ 他者に説明する
- ▶ 他者から意見をもらう
- ▶ 思考をアップデートする

本日の談義・考察一助

- a. 物事のメディア化を促進するのに大事なポイントはなんだろうか
- b. 個々の思考をつなぐ時,の課題とその対策を検討したい
- c. 表現とは試行錯誤の出力である. 創作とメディアの関係を整理したい
- d. 上記に限らず,自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

次回予定

- ▶ **メディアサイクル - 場, 表現, 創発 そして 場**

参考文献

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. マーシャル・マクルーハン著, 栗原 裕訳, 河本 仲聖訳, 「メディア論 人間の拡張の諸相」, みすず書房, 1987
3. 井上 浩一, 「生き残った帝国 ビザンティン」, 講談社文庫, 2008
4. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
5. 徳善 義和, 「マルティン・ルター - ことばに生きた改革者」, 岩波新書, 2012
6. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
7. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
8. クァンタン・メイヤスー著, 千葉雅也訳, 大橋 完太郎訳, 星野 太訳, 「有限性の後で」, 人文書院, 2016
9. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
10. 東 浩紀, 「動物化するポストモダン」, 講談社現代新書, 2001